



## 『シギ・チドリの楽園づくり』にむけて

大阪湾岸の埋立地に湿地を復元し維持する…「NPO法人南港ウェットランドグループ」

湿地やシギ・チドリといった言葉は耳慣れないと思います。湿地 (Wetland) は、簡単に言うと草靴では入れないような環境で、田んぼ、池、湖沼、河川、干潟などです。とくに、海と陸の接点にある干潟は生きものの宝庫で、シギやチドリの仲間の多くは、干潟の生活に適應し、浅い水の中や泥の上を歩き回って餌を探します。彼らは、夏にシベリアなどの北極圏で子育てをし、冬は東南アジアやオーストラリアで過ごします。そのため、春には北極圏へ向けて、秋には南へ向けて1万キロあまりの長い渡りをします。彼らが生きていくには、子育てをする繁殖地、冬を過ごす越冬地、渡りの途中でエネルギーを補給する中継地で、湿地という環境を必要とします。日本・韓国・中国などの沿岸部の湿地（とくに干潟）は彼らにとってかけがえのない場なのです。

大阪南港野鳥園 (1983年開園) は埋立地の中に新たに作られた干潟です。現在、私たちの住む大阪に、シギ・チドリの中継地となるような干潟はあるでしょうか。淀川下流、大阪南部の小さな川の河口、大阪南港野鳥園などにわずかに残っているにすぎません。私たちNPOは、この野鳥園で様々な活動をしています。その核となっているメンバーは、ここでの湿地づくりと保全に10年以上もかかわっている人たちです。

大阪南港野鳥園から少し離れた所に住吉大社があります。昔はその前が海で、遠浅の砂地の干潟が広がっていました（「住吉浦」と呼ぶ）。ここは、渡り鳥の中継地としてはもちろん、その景色のよさや潮干狩りの行楽地として大坂町民に親しまれた所でした。しかし、住吉浦は貯木場となり、その前の海は1000haの広大な南港埋立地となりました。シギ・チドリなどの渡り鳥の生活範囲は、住吉浦から南港埋立地（浚渫土を入れた所にできた湿地）に移っていかざるを得なくなり、大阪人の生活もどんどん海と隔絶されていきました。

今から約40年前、私の同級生や先輩らが、埋立地の中に渡り鳥の保護区をつくらうと、「南港の野鳥を守る会」という市民団体をつくり、大阪市への陳情、街頭署名など地道な活動を行った結果、1971年に大阪市は、埋立地に大阪南港野鳥園をつくることを決定しました。私どもの活動は、この40年前からの目標である『シギ・チドリの楽園づくり』を受け継いでいます。1983年に開園してから現在にいたるまで、私どもがボランティアで実施してきた生きものの継続調

査や環境監視に基づいて、様々な手入れや行政への改修要望の結果、2005年には目標にほぼ近い湿地環境となり、シギ・チドリに安住の地を提供できるまでになりました。また、2006年からは野鳥園の指定管理者として運営にかかわり、私どものメンバー2名がレンジャー（専門指導員）として常駐しています。

2001年環境省の「重要湿地500」に挙げられ、2003年日本で6番目（世界で32番目）の「東アジア・オーストラリア地域シギ・チドリ類重要生息地ネットワーク」登録地となった南港野鳥園は、シギ・チドリの渡来地としてだけでなく、湿地生態系に配慮された施設として内外から注目を受けるまでになってきました。南港野鳥園は、海辺にあって、渡り鳥や多くの湿地の生きものに出逢え、また昔から市民に親しみのある西に開けた大阪湾の風景に逢えるという、地元住民や大阪市民にとっては今や貴重な財産というべき所です。

南港野鳥園での活動において、私たちは、1) いつまでも渡り鳥が利用でき、たくさんの生きものが生息できる湿地にするための調査を、市民や行政や研究者と協力して行う、2) 野鳥園の湿地を通して、湿地の大切さを市民や子供たちに伝える、3) 市民とともに湿地を大切にまもり育てていく中で、次世代の担い手をたくさん育てていきたいと考えています。野鳥園に来られた皆さんが、何かを感じとって帰ってもらえるように、そして、何よりも市民自らが自主的に湿地の保全活動に参画したいと思えるような野鳥園を目指したいと思います。とは言っても、自然が相手ですからぼちぼちやっています。野鳥園の情報は、私どもがサポートして作成しているHPをご覧ください。

南港野鳥園のホームページ：

<http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com/>

(NPO法人南港ウェットランドグループ 高田 博)

### OSIES News 人と環境 No.7(2008)

大阪信愛環境総合研究所(OSIES)発行(2008年5月)

大阪信愛女学院短期大学鶴見学舎内  
〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見6-2-28  
TEL:06-6180-1041,FAX:06-6180-1045

Web page:<http://www.osaka-shinai.ac.jp/osies/>

### 2008年度大阪信愛女学院短期大学公開講座「環境総合研究所講座」ご案内

第1回 5月24日(土)「こころと庭のセルフケア」

笑福庭代表 園芸療法士 寺田 裕美子 氏

第2回 6月24日(土)「鳥やカニや貝が教えてくれた魅力ある湿地づくり—大阪南港野鳥園での活動から—」 NPO法人南港ウェットランドグループ理事長 高田 博 氏

開催場所・時間：第1回：本学鶴見学舎(14:00-15:30)、第2回：大阪府立文化情報センター(中央区大手前)(14:30-16:00)

申込み等問い合わせ先:大阪信愛女学院短期大学公開講座係 (TEL 06-6180-1041)まで